

星城大学
学長 赤岡 功 様

星城大学 外部評価委員会
委員長 西村 周三（京都大学大学院名誉教授）
委員 金子 章道（畿央大学名誉教授）
委員 大橋 靖雄（愛知学院大学名誉教授）
委員 石川 守（星城大学後援会長）

令和元年9月3日に開催した星城大学外部評価委員会について、以下のとおり意見を取りまとめたので提出する。

星城大学外部評価委員会 意見

現在の星城大学は、学生が中心であるというスローガンに基づき、学長の強いリーダーシップのもと、大学改革が行われていることを高く評価いたします。2018年度の就職率もほぼ100%ということで、また今年度入学者数は定員を満たし、日頃の皆さまの努力の結果が導いたものと思います。

その反面、会議が多いようにも思われ、教育・研究の場である大学において、教員へ負担を与えているのではないかと懸念されます。さらなる改革を推進し、業務の効率化、集約化を求め、大学本来の教育・研究の場としての機能を追求していただきたいと思います。

1. 留学生の国籍が多様化し、卒業後母国で活躍することを願っていること、アジア諸外国の大学・研究機関との連携に力を入れているということを積極的にPRしてもらいたい。
2. 少子化の中で、学生の実績をPRし、アジアを中心とする諸外国の大学との連携を強化すると良い。
3. リハビリテーション学部は資格を取得するための学部であるとのことである。取得した資格が必ずしも海外で通用するものではないにせよ、台湾やタイのように日本より進んでいる国との交流も図るため、将来的には留学生の受け入れを検討いただきたい。
4. 委員会の数が多い。委員会の整理・統合を図り、集約することはできないかご検討いただきたい。
5. 学生相談業務において教職員が対応している件数も多い様に思う。学生相談室業務の機能を果たしていることは良い事ではあるが、そのために時間が割かれるので、会議等の負担を減らす工夫をして欲しい。

6. 先生の学生たちに対する姿勢が、他大学に比べ良いと思う。先生方が個別にしっかり指導をしている現れである。こういった指導をすることにより、時間が割かれているのが現状であり、他の業務を軽減するような工夫を行っていただきたい。
7. 経営学部の女子学生比率が高くなったことは評価する。
8. 退学率が高くなってきている点について、入試において筆記試験のみではなく、面接、AO入試を拡充してはどうか。人を見て採用する、顔を見て、明るく元気な学生を選定してほしい。
9. 退学率が上がってきていることは心配であるが、学生の適性に合っていないのであれば、むしろ早期退学などへ進路を指導することも必要ではなかろうか。偏差値だけでなく、学生のケア、方向性を導き出すのが理想である。
10. 健康支援をさらに発展させるためのとりくみとして、健康寿命という言葉はあるが元気なだけで老後破産をしてしまっただろうもなし。どうしたら良いか、真をくみ取って研究してもらいたい。
11. 保護者として、学生がしっかり単位を取得し、楽しい学生生活を送り、社会に出られることを願っている。先生方には十分な面倒を見ていただきたい。
12. AI、IoTは、言葉に躍らされず、大学として何がしたいのか、共通認識を持ち、教育・研究に何を取り入れたいか、と決めていくとよい。
13. 留学生増加、研究力など、赤岡学長就任の2014年度から上向きで、この力を損なわないよう、一丸となり努力をお願いしたい。

以上